企業での経験を、次のステージに







いま、企業で長年働いてきた人たちが福祉事業所で多く活躍しています！ 50代以降の第二の人生を、今までとは違う他分野で過ごすことは、人生100年時代を生きる上で一つの有力な選択肢となっています。福祉の現場では、あなたの人生経験そのものが大きな力になります。夕方からの長い人生をどのように生きるべきか考えている方、社会貢献につながる仕事に関心がある方はぜひ、福祉の仕事をしてみませんか？

神奈川県　シニア労働力移転促進事業

全国の福祉事業所で活躍するミドル・シニア層たち！

「福祉の仕事は体力が必要な仕事だから、自分には難しいかもしれない……」
「資格や専門的なスキルがないから転職するのは不安だな……」
と感じている方もいらっしゃるかと思います。
私たちは、これまで企業等から福祉の仕事へ転職した方や、
そうした転職者を雇用した福祉事業所へインタビューを行ってきました。その声の一部をご紹介いたします！

転職者の声

Aさん（62歳、男性）

流通関係の会社で管理職（役員）→
社会福祉法人の生活介護事業所で行動障害のある知的障害者を支援

行動障害のある人はなかなか大変です。最初は戸惑いましたが、慣れてきますね。意図的に悪いことする人は世の中たくさんいますけど、彼らは自然じゃないですか。
以前の仕事の内容とはまったく関係ありませんが、長い会社勤務の中で嫌なこと含めていろいろな経験をしてきたので、利用者が暴れてもあまり驚かないです。悪意があって人を陥れようとするような人たちとの出会いは山ほどあるので、そんなのと比べるとたいしたことはありません。

Bさん（56歳、女性）

インナーウェアメーカーで事務系の仕事→
障害者支援を行う社会福祉法人で事務職

有給とか育児休暇は取りづらいのかなと思っていましたが、すぐに払拭されました。思っていたよりも働きやすい職場だと思います。自分の中で福祉という選択肢がなかったので、変な先入観がないまま飛び込んできて、かえって良かったのかなと思います。違和感はまったくないです。



Cさん（61歳、男性）

若いころは酪農や漁業に従事、その後かまぼこなどを製造する会社で勤務→
障害者支援を行う社会福祉法人の生活介護事業所で勤務

重度の障害者の全介助の仕事と言われたので、寝たきりの障害者を想像していました。実際は30～50代の障害者で歩くこともできる人ばかり。2週間ぐらいで自分の気持ちは固まりました。何とかなるだろうと自分に言い聞かせて、小さな不安を一つずつつぶしていきました。
実際に障害者の表情を見たとき、ここで勤められるのかと思いましたが、2週間いるうちに自分もできるんじゃないかと思いました。障害者といっても一人ひとり違う。そういうことも一つずつ経験していくうちに2週間が過ぎていました。

企業から福祉への流れ

送り出し側
企業
これまでとは違うセカンドキャリアを送りたい…
でも、福祉は資格・経験がないと難しそう…
シニア人材

仲介機関
ハローワーク
産業雇用安定センター
等

受け入れ側
福祉 社福法人、NPO法人 等
人材不足だし、いい人材が欲しい。
でも企業勤めの人にどうやって受け入れたらいいか分からない…
受け入れ担当者

本事業での取り組み

“福祉”の選択肢を知ってもらい、事業所とマッチング

- 福祉への転職に関する**フォーラムの開催**
- 企業から福祉への**転職事例を紹介する動画・冊子の提供**
- 体験・見学先の**福祉事業所の紹介**

“企業人材”の可能性を伝え、受け入れをサポート

- 企業人材の活用に関する**フォーラムの開催**
- 求人内容の整理など、**企業人材の効果的な活用に関する支援・助言**
- 転職者への**福祉の仕事に関する研修機会の提供**



福祉事業者の声

Dさん（社会福祉法人理事長）

当法人では新卒は４分の１ほどで、あとは中途採用。福祉業界から転職してきた人もいますが、まったく違う分野から来る人が多いです。採用する際には、やはり人柄を見ます。知的障害があり、自ら何かを訴える力の弱い人を相手にする仕事、そしてひとり職場になりがちなので、「この人だったら任せられる」と思えるかどうかを考えています。たとえば、小型機のパイロットを23年間務めた人。住宅街の上空を一人で飛行機を操縦する仕事は、相当な責任感がないとできないですから、すぐに採用を決めました。

Eさん（社会福祉法人事務局長）

当法人は、障害当事者が地域の中でいつまでも暮らし続けられる社会の実現を目指しています。そして、その原動力は、他業種から転職してきたキャリア人材によるところが大きくなっています。とりわけミドル・シニアの職員が持つ人間力や多様な強みは、地域の世界観を変えていく可能性を秘めていると感じているところです。
このパンフレットを目にした方が障害者福祉の分野に目を向け、その現場で働いてみたいと一歩踏み出していただけたら本当にうれしいです。年齢やキャリアに関係なく共に学び続けましょう。

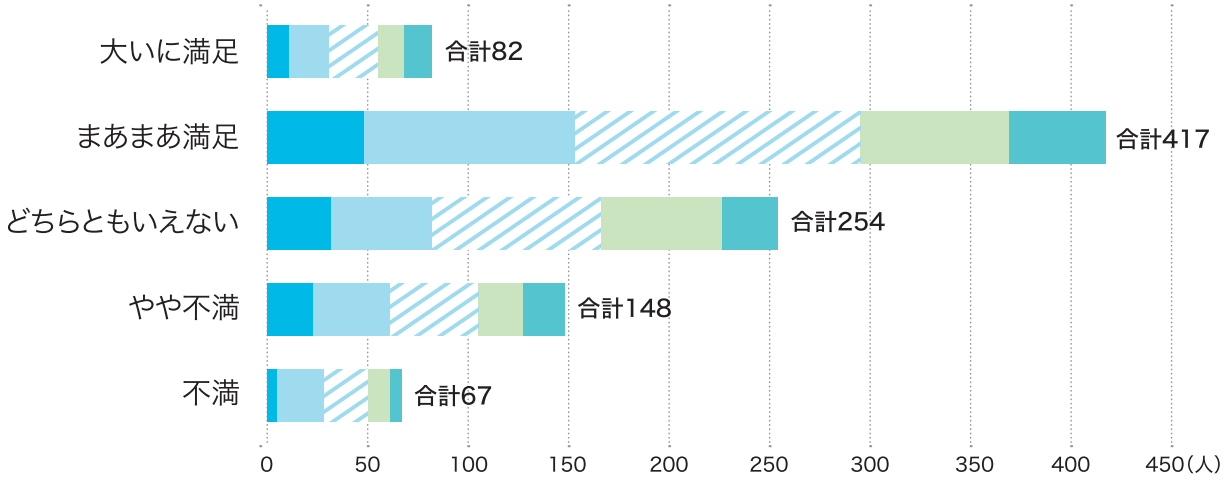
Fさん（社会福祉法人理事長）

当法人では、製造業出身のミドル・シニアの方が技術と生産管理のノウハウを持っていらっしゃるので、障害の就労支援の現場で治具の開発、製品開発など品質・生産性向上に寄与されています。生活支援でも、豊富な人生体験や子育ての経験を活かして、利用者さんに寄り添った支援をしていただいています。
農福連携、農産品加工、アート、デザイン、工芸、イベント開催、バンド活動など、あらゆる職種の経験、趣味、特技が100%活かせるのが障害福祉の職場だと思います。

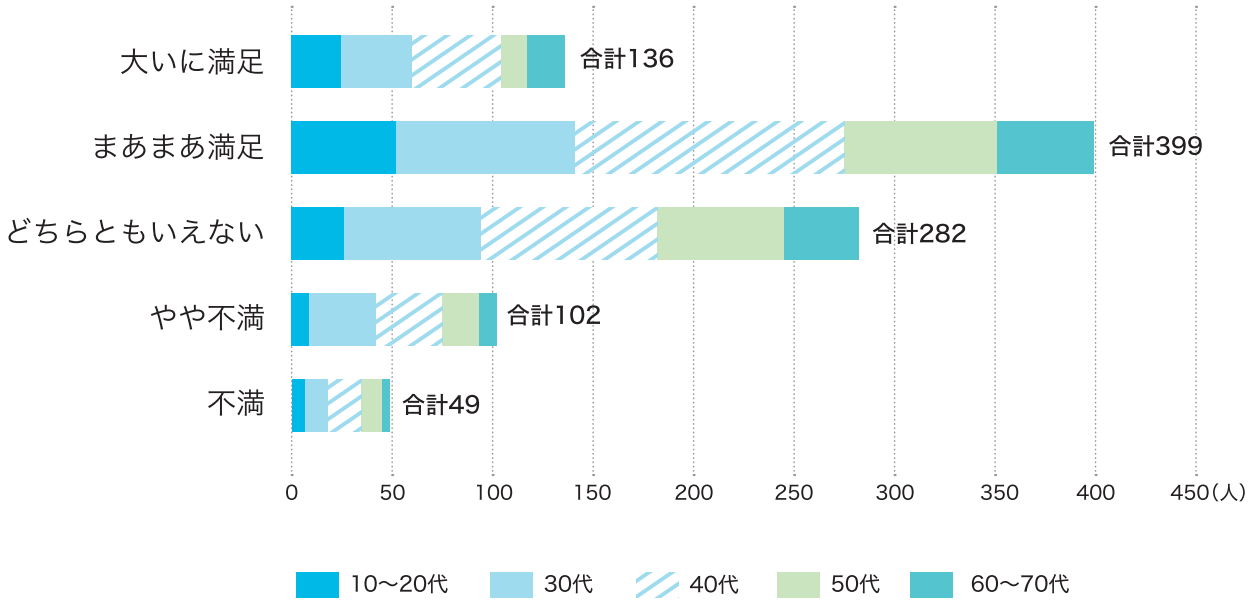
＼ 転職者の現在の仕事の満足度 ／

職場の体質などによっては不満に感じる場合があるものの
現在の仕事への満足度は全体に高い

【給与】



【人間関係・メンタルヘルス】



出典：一般社団法人スローコミュニケーション（2021）『障害福祉業界への転職BOOK「福祉ではたらく」』

転職者の声

企業から福祉業界へ転職した方々のインタビューです

商社から障害者支援施設へ

大澤宏さん
社会福祉法人
いたるセンター
阿佐ヶ谷福祉工房

▶ https://youtu.be/9JnCvcm9gZo

家電メーカーから障害者支援施設へ

高須保弘さん
社会福祉法人
京都ライフサポート協会
若杉

▶ https://youtu.be/-47-XKQnfAc

インナーウェアメーカーから障害者支援施設へ

川崎真由美さん
社会福祉法人
千楽　まある

▶ https://youtu.be/UnIkulvgajI

企業シニア層の皆さんへ
「企業から福祉へ」プロジェクトの考え方



蒲原基道氏
かもはら・もとみち

元厚生労働事務次官
日本社会事業大学
社会福祉研修センター客員教授
同愛記念病院財団　理事長

民間企業で働いておられる方にとって、障害福祉などの福祉分野で働くことのイメージとしてどういうものがあるでしょうか。すぐに思い浮かべるのは、介護などの直接処遇の仕事でしょうが、これ以外にも、人事管理や経理などの業務、障害者の就労支援などさまざまな仕事があります。一方で、皆さんは、それぞれの仕事を通じて、コミュニケーション力、組織マネジメント能力など幅広い能力を持っておられます。これをぜひとも福祉分野で生かしていただきたいと考えます。実際、民間企業経験者を積極的に採用する社会福祉法人も増えてきています。

その際、転職することへのとまどいも当然あるでしょう。とすると、在職中から、少しだけ福祉分野を体験しておくことが重要です。ボランティアの形でもいいし、副業という形もあるでしょう。そこで、高齢者、障害者などに触れる中で、これまでの仕事とはまた別の働き方があることを感じてほしいと思います。

本プロジェクトの特徴は、企業と一緒になって、福祉分野という新たな活躍の場を提供していく点にあります。企業の人事部局を通じて、在職中から体験の機会の提供や福祉分野での仕事についての情報提供などを行い、企業と福祉事業所との橋渡しをサポートしていきます。

高齢になっても社会とかかわり、そこで一定の役割を果たすことは、皆さんご本人のためになることだと考えられます。第二の人生の一つの選択肢として、福祉分野での活動を検討いただけると幸いです。



野澤和弘氏
のざわ・かずひろ

植草学園大学副学長（教授）
一般社団法人
スローコミュニケーション代表
社会福祉法人千楽副理事長

「福祉の仕事は充実感がいっぱい」

今の仕事にやりがいを感じていますか？　自分がいなくてはと思っていても、定年が近づくにつれて社内の環境は変わっていくものです。

元気なうちに新しい世界でチャレンジしてみませんか？

福祉はあなたの力を必要としています。特別な資格は要りません。企業で長年働いてきた経験とスキルが生かせます。

特に障害者福祉は子どもから高齢期まで利用者の年齢層が広く、就労支援や事務・経理・ICT などすぐに経験を生かせる仕事があります。もちろん、生活支援や相談支援など福祉ならではの幅広く奥行きのある仕事もあります。

企業や行政、地域社会との連携や調整が必要な業務、障害者雇用に関連して商品開発や販路の開拓も重要な仕事です。

働きながら資格を取得してステップアップする人もいます。年を取っても元気な限り働ける職場はたくさんあります。若い職員たちと一緒に働くのは楽しいものです。

人生 100 年時代、50～60 歳から先が長いのです。人生のシフトチェンジをするのに遅すぎることはありません。今、大勢のミドルシニア、シニア層が福祉の世界に飛び込んで来ています。あなたも古い自分を卒業して、新しい世界で働いてみませんか？

関連冊子のご案内

それぞれ二次元コードからダウンロードできます。

福祉の人材不足をどうするか2025年版
～企業等から福祉への転職･出向ガイド～

2025年3月発行

社会福祉法人等の経営者や人事担当者が企業からの転職者（特にシニア層）を受け入れるためにどうすればいいのかを、様々な転職者のインタビューなどを交えて解説した冊子です。



今から始める人たちを応援する
障害者福祉の仕事つながり方ハンドブック

2025年3月発行

障害者福祉事業に関心がある方やこれから始めたいと考えている方へ、障害者福祉の仕事とはどういうものかを事例やインタビューを交えて解説した冊子です。



問い合わせ連絡先

社会福祉法人 千楽

〒279-0042 千葉県浦安市東野1丁目7番5号

E-mail：utsunomiyashiho.chiraku@gmail.com

URL：www.chiraku.com

神奈川県「企業から福祉への応援プロジェクト」

E-mail：fk-jinzai@pref.kanagawa.lg.jp

URL：https://www.pref.kanagawa.jp/docs/n7j/seniorlaborforce.html